

# 交換留学報告書

\* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	中野 澄	学年(渡航時)	3年
派遣先大学	ミネソタ州立大学マンケイト校		
国・地域	アメリカ・ミネソタ州		
派遣期間	2024 年 8 月 ~ 2024 年 12 月		

## 履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Education & Culture in the United States	留学生が履修を推奨されている授業。ミネソタ州の教育と文化について幅広く学ぶことができる。課題は「クラブ活動に参加すること」「大学のイベントに参加すること」「セメスターの目標を決めること」など、留学生が大学になじむことを目的としているようだった。
Exploring Careers in Education	初等教育の教員を育成するプログラム。講義形式ではなく、ディスカッション、グループワークなどが主。最終課題では、自分の考えた教授法を生徒役のクラスメイトに対して 10 分間実践した。
Introduction to Critical Race Theory in Education	アメリカの教育においての人種差別(主に黒人差別)の歴史と現状を学ぶ授業。主に講義形式で、2回ほどグループプレゼンがあった。毎回 Word1 ページ程度のリフレクションシートの提出があった。
Drawing Foundation	Drawing の授業。テストなしで、作品のみで成績が決まる。芸術学部以外の人もいるため評価はあまり厳しくない。クラスメイトと作品を批評し合ったり似顔絵を描き合ったりするため、友達を作る機会もある。
Pop Music USA:R&B to MTV	オンライン授業。アメリカの音楽の歴史についての動画が配信される。4 回のオンラインテストと、学内のコンサートを観に行くことで点数が入る。

## 留学レポート(1,500 字以上)

### 【学問】

私は、教職課程を履修したことがきっかけで、多民族が混在する国アメリカの教育を学びたいと考え、ミネソタ州立大学の教育学部で主に学ぶことを選びました。私は教育系の授業を3つ取りましたが、なかでも印象が強かったのは Exploring Career in Education という授業です。教育学部の生徒と一緒に、実際にアメリカで教員になるための教授法を学び、実践しました。私の英語力の問題でクラスメイトに迷惑をかけることもありましたが、ほぼ毎週教授のオフィスを訪ね補習をしてもらうことで、なんとか最終課題のティーチングアクティビティをやり遂げることができました。分からないままにしておくのではなく、恥を捨ててクラスメイトと教授に助けを求めることで、周りから積極的なサポート、また大切な友達も得ることができました。授業を通して、様々な人種、国籍を持つ生徒のいるアメリカの教育に刺激を受け、日本の教育を新たな視点で考えることができました。日本で教育実習の準備を始める前に、アメリカで先生役をするという貴重な体験ができました。

### 【生活・文化】

私は、第一希望の寮の抽選に外れ、Stadium Heights という大学からバスで 5 分ほどの寮に住んでいました。二人部屋が二つあり、キッチン・リビング・バスルームは共用の 4 人暮らしでした。私以外ミネソタ州出身のアメリカ人で不安でしたが、とても気さくな人達ですぐに仲良くなりました。平日は毎日一緒にアニメをみたり、休日はミネソタ州の観光地を案内してくれたりしました。最終日には、ルームメイトたちが空港まで送ってくれ泣いてお見送りしてくれたことも忘れません。単なるルームメイトではなく、私生活で遊んでくれる良い友達になってくれたことが本当に嬉しかったです。ミネソタ州の人は優しいということを表す“Minnesota nice”という言葉があるのですが、カフェやコンビニなどではほぼ 100%、前の人が次の人のためにドアを開けておくという光景が見られるなど、

ルームメイトだけではなく町全体が優しさにあふれていたのも、その言葉の通りだなと感じました。ミネソタ州立大学はマンケイトという、都市から1時間半ほどの田舎なので、車社会でした。一人でダウンタウンのカフェに行こうと思っても、徒歩では不可能だと感じました(寒さも原因)。しかし近くのスーパーマーケットやショッピングモールまでなど、人気のルートに行くバスは頻りに運行しているので、生活に困るほどではありません。ルームメイトや、現地の車を持っている学生と友達になれば、マンケイトおすすめスポットに車で連れて行ってくれることも多くありました。ミネソタ州立大学の学生は携帯でオーロラ予報をよくチェックしており、「今日はオーロラが強いから！」と言って夜に車で湖の近くまで連れて行ってくれるというラッキーなこともありました。課題が溜まっていない休日は、ミネアポリスという大きな都市に車かバスで行くのが大学生の定番でした。アメリカ最大級のショッピングモール Mall of America や、レンブラントやモネの作品が展示されている Minneapolis Institute of Art など観光地が多く、何度行っても飽きない町でした。

### 【語学力】

ミネソタ州立大学マンケイト校は留学生を多く受け入れている大学です。留学生に人気なのは多文化に対してウェルカムで、よそ者扱いしない大学だからこそだと思います。特に日本人がとて多いと感じました。最初のオリエンテーションでは、8割くらい日本人で驚いたのを覚えています。同じ日本から来た学生と仲良くなれて始めは安心しましたが、実用的な英語を話せるようになりたかった私は、日本語を話す機会があまりにも多いことに困惑しました。しかしルームメイトと遊ぶ回数を増やしたり、授業で友達を作ったり、教会のイベントなどネイティブスピーカーが多い環境を自ら獲得することで、最終的にはネイティブスピーカーとの会話を日常的にする習慣がつかしました。何も考えずに会話をするのではなく、会話で吸収した単語をメモして見返す→次の会話でアウトプットするという作業を繰り返すことで、4か月という限られた時間で英語のレベルを上げることができたと思います。

### 留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



ハロウィンシーズンにカボチャをくり抜くコンテストに参加した。



ルームメイトとアメリカ北部中央らしい文化を体験しに行ったときの写真。リンゴ狩り体験やコーン畑での迷路のあるテーマパーク。



大学から車で一時間半ほどで到着するミネアポリスでは様々な観光名所を訪れた。写真の州最大の美術館“Minneapolis Institute of Art”ではモネの作品をみることができた。



五大湖に面した町、Duluthでの一枚。自然が綺麗な町だった。



サンクスギビングやクリスマスシーズン、ルームメイトのおばあさんの家に招待され、料理を振る舞ってもらった。  
写真はミネソタ州で有名な家庭料理“Tater Tots dish”



4 か月の間で、2 回オーロラを見る機会があった。  
写真は寮から出てすぐの駐車場で撮った。



ルームメイトから誘ってもらい、Pride parade に参加した。  
様々な屋台、コンサートがあり、LGBTQ について楽しく学ぶ機会となった。